

令和4年入込観光客総評

令和5年6月 箱根町企画観光部観光課

■ 総括

令和4年は、1月から3月までまん延防止等重点措置の適用による行動制限があったが、新型コロナウイルスの感染状況が徐々に落ち着き、旅行需要喚起策の実施や水際対策が緩和されたことで、前年を上回る結果となった。

■ 入込観光客数

17,360千人（前年比128.6% 3,860千人の増）

〔内訳〕

- ・宿泊客：3,450千人（前年比135.8% 909千人の増）
- ・日帰り客：13,910千人（前年比126.9% 2,951千人の増）

■ 影響を受けた事象

- ・新型コロナウイルス感染症に係る行動制限のない状況が継続したこと
- ・かながわ旅割や全国旅行支援が実施され、旅行需要喚起がなされたこと
- ・外国人観光客に対する水際対策が緩和されたこと

1 宿泊客について

(1) 施設形態別

かながわ旅割や全国旅行支援などの旅行需要喚起策の効果もあり、旅館・ホテルは3,095千人（前年比134.5% 794千人の増）、寮・保養所は318千人（前年比158.5% 117千人の増）、民宿・国民宿舎・ユースホステル・民泊は8千人（前年比120.6% 2千人の増）となり、前年より増加した。

〔内訳〕

全体的に前年より増加しているが、特に外国人観光客は、水際対策が大幅に緩和された10月以降顕著な回復が見られ、前年より大幅に増加した。

- ・一般客：3,386千人（前年比133.9% 857千人の増）
- ・外国人観光客：42千人（前年比1031.9% 38千人の増）
- ・修学旅行者：22千人（前年比261.6% 14千人の増）

(2) 月別

1月から3月まではまん延防止等重点措置の適用による行動制限があったが、全ての月で前年を上回る宿泊客数となった。当町にとって閑散期になる12月も全国旅行支援の効果やインバウンドの回復により、繁忙期の8月、11月に次ぐ3番目の多さとなった。

2 日帰り客について

前年と違い、5月のゴールデンウィークや8月の夏休み期間中に行動制限等がなく、外出需要が回復してきたことから、日帰り客についても宿泊客同様に前年を上回る結果となった。

3 月別入込み状況について

【1月】

新型コロナウイルスの変異株であるオミクロン株が日本国内でも爆発的に拡大し、21日からまん延防止等重点措置が適用されたが、若者グループを中心に多くの観光客が訪れた。

【2月】

まん延防止等重点措置の影響もあり、例年に比べ観光客は少ないが、緊急事態宣言が発出されていた前年よりは賑わっている場所もあった。

【3月】

春休みシーズンに入ったことや、まん延防止等重点措置の解除が後押しとなり、町内各所で家族連れや卒業旅行で訪れたと思われる学生の姿が目立ち、連日賑わいを見せていた。

また、28日には約7年ぶりに大涌谷の自然研究路が一部再開し、事前予約して入場した観光客を楽しませていた。

【4月】

新型コロナウイルスの新規感染者が増加傾向にあったが、ひと月を通して行動制限がなく、かながわ旅割の効果もあり、旅行を楽しむ観光客の姿が多く見られた。

【5月】

3年ぶりに行動制限のないゴールデンウィークは町内でも賑わいが見られ、各所で旅行を楽しむ観光客の姿が見られた。

【6月】

新型コロナウイルスの感染者数が減少傾向にあり外出意欲が回復してきたことや、かながわ旅割の効果もあり、観光客の姿が多く見られた。

27日には観測史上最速で梅雨明けが発表されたが、その後は猛烈な暑さが続いたことによる出控えも感じられた。

【7月】

前半は観光客の姿も多く見られたが、中旬からは新型コロナウイルスの感染者数が全国で急増し、観光施設や宿泊施設でも予約のキャンセルが増えた。

【8月】

3年ぶりに行動制限のない夏休みとなったが、上旬はコロナの感染者数急増により宿泊のキャンセルが増えたことや、連日厳しい暑さが続いたことによる出控えも見られ、観光客の姿も少し寂しく感じられた。

しかし、お盆休みに入った中旬以降は、多くの観光客の姿が見られた。

【9月】

新型コロナウイルスの第7波が若干の弱まりを見せる中、かながわ旅割の効果もあり、多くの観光客の姿が見られた。

また、水際対策が緩和されたことにより、箱根湯本駅や大涌谷でも外国人観光客の姿が少しずつではあるが見られるようになった。

【10月】

11日から開始された全国旅行支援の効果もあり、休日・平日を問わず連日多くの観光客の姿が見られた。

また、水際対策の大幅な緩和及び個人旅行の解禁に加え、歴史的な水準まで進んだ円安の効果もあり、外国人観光客が前月以上に見られるようになった。

【11月】

すすきや紅葉が見ごろを迎えたことに加え、全国旅行支援の効果やインバウンドの回復もあり、前月に引き続き、休日・平日を問わず連日賑わいが見られた。

【12月】

前月に引き続き好調が維持されているように思われた。

特に、クリスマスが土日と重なったこともあり、家族連れや若者のカップルで賑わいが見られた。

※ 最大入込月について

最大の入込みがあったのは、仙石原すすき草原や紅葉が見頃になった11月であり、次いで、全国旅行支援の効果やインバウンドの回復により賑わいを見せた12月という状況であった。

旅行需要喚起策について

- かながわ旅割

期間：令和4年4月6日（水）～10月10日（月）

- いざ、神奈川！

期間：令和4年10月11日（火）～12月27日（火）

令和4年 月別入込観光客数一覧

(単位：人)

施設区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	対前年比
旅館・ホテル	207,573	160,212	272,298	229,993	257,806	215,688	235,820	344,103	261,192	273,827	318,874	317,506	3,094,892	134.5%
(内数：一般客)	206,918	159,762	271,499	226,955	255,397	211,568	233,801	341,916	257,616	265,046	302,865	299,855	3,033,198	132.4%
(内数：外国人客)	307	275	374	395	469	505	503	882	1,387	5,724	12,946	16,294	40,061	1489.3%
(内数：修学旅行者)	348	175	425	2,643	1,940	3,615	1,516	1,305	2,189	3,057	3,063	1,357	21,633	277.9%
民宿・国民宿舎 ユースホステル・民泊	477	230	566	383	803	537	656	998	637	713	862	797	7,659	120.6%
(内数：外国人客)	25	15	4	13	51	13	69	90	57	164	232	133	866	164.6%
ペンション	115	87	182	107	128	81	126	191	133	158	219	234	1,761	139.8%
キャンプ場・コテージ	1,193	683	2,230	1,847	2,746	1,379	2,716	5,979	2,491	2,205	1,939	1,864	27,272	87.4%
(内数：外国人客)	51	59	23	44	43	40	35	63	52	64	111	52	637	78.4%
(内数：修学旅行者)	0	0	0	0	91	0	31	0	77	102	0	0	301	50.2%
寮・保養所	20,894	11,839	21,892	26,284	28,982	24,881	29,374	39,999	26,161	27,391	30,335	30,384	318,416	158.5%
宿泊客計	230,252	173,051	297,168	258,614	290,465	242,566	268,692	391,270	290,614	304,294	352,229	350,785	3,450,000	135.8%
(内数：外国人客)	383	349	401	452	563	558	607	1,035	1,496	5,952	13,289	16,479	41,564	1031.9%
(内数：修学旅行者)	348	175	425	2,643	2,031	3,615	1,547	1,305	2,266	3,159	3,063	1,357	21,934	261.6%
日帰客	863,373	631,382	1,066,318	902,194	1,278,101	903,518	1,017,530	1,475,370	1,086,703	1,373,056	1,705,239	1,607,216	13,910,000	126.9%
観光客総数	1,093,625	804,433	1,363,486	1,160,808	1,568,566	1,146,084	1,286,222	1,866,640	1,377,317	1,677,350	2,057,468	1,958,001	17,360,000	128.6%

過去10年間の観光客の推移

(1) 宿泊客数

年	宿泊客数(人)	対前年比	対前年増減(人)
平成25年	4,716,936	—	—
平成26年	4,606,751	97.7%	△ 110,185
平成27年	3,665,231	79.6%	△ 941,520
平成28年	4,338,824	118.4%	673,593
平成29年	4,693,513	108.2%	354,689
平成30年	4,525,879	96.4%	△ 167,634
令和元年	4,296,727	94.9%	△ 229,152
令和2年	2,788,706	64.9%	△ 1,508,021
令和3年	2,540,991	91.1%	△ 247,715
令和4年	3,450,000	135.8%	909,009

(2) 日帰客数

年	日帰客数(人)	対前年比	対前年増減比(人)
平成25年	16,140,064	—	—
平成26年	16,583,249	102.7%	443,185
平成27年	13,710,769	82.7%	△ 2,872,480
平成28年	15,226,176	111.1%	1,515,407
平成29年	16,826,487	110.5%	1,600,311
平成30年	16,734,121	99.5%	△ 92,366
令和元年	14,663,273	87.6%	△ 2,070,848
令和2年	9,781,294	66.7%	△ 4,881,979
令和3年	10,959,009	112.0%	1,177,715
令和4年	13,910,000	126.9%	2,950,991

(3) 観光客総数

年	観光客総数(人)	対前年比	対前年増減比(人)
平成25年	20,857,000	—	—
平成26年	21,190,000	101.6%	333,000
平成27年	17,376,000	82.0%	△ 3,814,000
平成28年	19,565,000	112.6%	2,189,000
平成29年	21,520,000	110.0%	1,955,000
平成30年	21,260,000	98.8%	△ 260,000
令和元年	18,960,000	89.2%	△ 2,300,000
令和2年	12,570,000	66.3%	△ 6,390,000
令和3年	13,500,000	107.4%	930,000
令和4年	17,360,000	128.6%	3,860,000